

Ver 1.0

オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく  
温室効果ガス吸収プロジェクト申請書別紙  
モニタリングプラン

プロジェクト名	三重県大台町宮川流域における持続可能な森林管理プロジェクト
プロジェクト代表事業者名	尾上 武義

提出日 2009年12月3日  
受理日 年 月 日  
最終版提出日 年 月 日

I. 純吸収量で考慮する温室効果ガス排出・吸収活動(方法論項目3)

プロジェクト吸収量・排出量				
吸収源(炭素プール)	吸収活動の説明	プロジェクト吸収量	温室効果ガス	備考
地上部バイオマス	間伐等の森林施業の実施により、追加的に地上部バイオマスが蓄積される。	三重県大台町(番地は申請書参照)に立地し、間伐等の森林施業が実施された人工林(樹齢14~60年生)	CO2	資料2「森林施業計画(大台町有林団地)」に示す人工林
地下部バイオマス	間伐等の森林施業の実施により、追加的に地下部バイオマスが蓄積される。	三重県大台町(番地は申請書参照)に立地し、間伐等の森林施業が実施された人工林(樹齢14~60年生)	CO2	資料2「森林施業計画(大台町有林団地)」に示す人工林
排出源	排出活動の説明	プロジェクト排出量	温室効果ガス	備考
主伐による地上部バイオマス分の排出量	森林経営活動(主伐)の実施により、蓄積されていた地上部バイオマス中のCO2が排出される。	三重県大台町(番地は申請書参照)に立地し、主伐が実施された人工林	CO2	資料2「森林施業計画(大台町有林団地)」に示す人工林
主伐による地下部バイオマス分の排出量	森林経営活動(主伐)の実施により、蓄積されていた地下部バイオマス中のCO2が排出される。	三重県大台町(番地は申請書参照)に立地し、主伐が実施された人工林	CO2	資料2「森林施業計画(大台町有林団地)」に示す人工林

※ 欄が足りない場合には追加して記入すること。

## II. 算定式（方法論項目5）

### 4. 純吸収量の算定 ※下記5-1から6-1に基づき、プロジェクトによる純吸収量を算定し、値を記入する。

純吸収量の算定は以下の式に基づき行った。その結果、純吸収量は 982.1 だった。

$$\Delta C_{total} = \Delta C_{FM} - \Delta C_{Cut}$$

$\Delta C_{total}$	人為的純吸収量 (t-CO <sub>2</sub> /年)
$\Delta C_{FM}$	森林経営活動（植栽、間伐）に基づく、年間 CO <sub>2</sub> 吸収量 (t-CO <sub>2</sub> /年)
$\Delta C_{Cut}$	主伐による年間 CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年)

また、吸収量（地上部バイオマス + 地下部バイオマス）の算定は以下の式に基づき行った。その結果、吸収量（地上部バイオマス + 地下部バイオマス）は 982.1 だった。

$$\Delta C_{FM} = \Delta C_{AG} + \Delta C_{BG}$$

$\Delta C_{AG}$	地上部バイオマス中の年間 CO <sub>2</sub> 吸収量 (t-CO <sub>2</sub> /年)
$\Delta C_{BG}$	地下部バイオマス中の年間 CO <sub>2</sub> 吸収量 (t-CO <sub>2</sub> /年)

### 5-1. 吸収量（地上部バイオマス）の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

吸収量（地上部バイオマス）の算定は以下の式に基づき行った。その結果、吸収量（地上部バイオマス）は 783.0 だった。

$$\Delta C_{AG} = \sum_i \Delta C_{AG,i} = \sum_i (Area_{Forest,i} \times \Delta Trunk_{SC,i} \times BEF_i \times WD_i \times CF \times 44/12)$$

$\Delta C_{AG,i}$	森林経営活動（植栽、間伐）に基づく、階層 $i$ における地上部バイオマス中の年間 CO <sub>2</sub> 吸収量 (t-CO <sub>2</sub> /年)
$Area_{Forest,i}$	階層 $i$ において森林施業（植栽、間伐）が実施された森林の面積 (ha) ※ 1990年4月1日以降の累積面積とする。
$\Delta Trunk_{SC,i}$	収穫予想表等に基づく、階層 $i$ における単位面積当たりの幹材積の年間成長量 (m <sup>3</sup> /ha/年)
$BEF_i$	階層 $i$ における幹材積の成長量に枝葉の成長量を加算補正するための係数
$WD_i$	階層 $i$ における成長量（材積）をバイオマス（乾燥重量）に換算するための係数 (t/m <sup>3</sup> )
$CF$	樹木の乾燥重量から炭素量に換算するための炭素比率 (0.5)
$i$	1, 2, 3, ... プロジェクト実施対象地における階層（地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層：地位級）

### 5-2. 吸収量（地下部バイオマス）の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

吸収量（地下部バイオマス）の算定は以下の式に基づき行った。その結果、吸収量（地下部バイオマス）は 199.1 だった。

$$\Delta C_{BG} = \sum_i \Delta C_{BG,i} = \sum_i (\Delta C_{AG,i} \times R_{ratio,i})$$

$\Delta C_{BG,i}$	森林経営活動（植栽、間伐）に基づく、階層 $i$ における地下部バイオマス中の年間 CO <sub>2</sub> 吸収量 (t-CO <sub>2</sub> /年)
$R_{ratio,i}$	階層 $i$ における地上部バイオマス中の年間 CO <sub>2</sub> 吸収量に、地下部（根）を加算補正するための係数
$i$	1, 2, 3, ... プロジェクト実施対象地における階層（地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層：地位級）

## II. 算定式（方法論項目5）

6. ベースライン吸収量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

本プロジェクトは「持続可能な森林経営促進型(R002)」であり、吸収量の算定にあたってはグロスーネット計上方式を採用している。人為的な活動(主伐・間伐・植栽)が実施されていない土地は吸収量算定の対象とならないため、ベースライン吸収量はゼロとした。

7. プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

プロジェクト排出量の算定は以下の式に基づき行った。その結果、純吸収量は 0.0 だった。

$$\Delta C_{Cut} = \Delta C_{Cut-AG} + \Delta C_{Cut-BG}$$

$\Delta C_{Cut-AG}$  地上部バイオマス中の年間 CO<sub>2</sub> 排出量 (t-CO<sub>2</sub>/年)

$\Delta C_{Cut-BG}$  地下部バイオマス中の年間 CO<sub>2</sub> 排出量 (t-CO<sub>2</sub>/年)

また、プロジェクト排出量のうち、地上部バイオマス分の算定は以下の式に基づき行った。その結果、純吸収量は 0.0 だった。

$$\Delta C_{Cut-AG} = \sum_i \Delta C_{Cut-AG,i} = \sum_i (Area_{Forest-cut,i} \times Trunk_{SC-cut,i} \times BEF_i \times WD_i \times CF \times 44/12)$$

$\Delta C_{Cut-AG,i}$  階層  $i$  における主伐に伴う地上部バイオマス中の年間 CO<sub>2</sub> 排出量 (t-CO<sub>2</sub>/年)

$Area_{Forest-cut,i}$  階層  $i$  における森林施業(主伐)が実施された森林の面積 (ha)

$Trunk_{SC-cut,i}$  収穫予想表等に基づく、階層  $i$  における単位面積当たりの幹材積 (m<sup>3</sup>/ha)

$BEF_i$  階層  $i$  における幹材積の成長量に枝葉の成長量を加算補正するための係数

$WD_i$  階層  $i$  における材積をバイオマス(乾燥重量)に換算するための係数 (t/m<sup>3</sup>)

$CF$  樹木の乾燥重量から炭素量に換算するための炭素比率 (0.5)

$i$  1, 2, 3, ... プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林蓄積に関する層: 地位級)

また、プロジェクト排出量のうち、地下部バイオマス分の算定は以下の式に基づき行った。その結果、純吸収量は 0.0 だった。

$$\Delta C_{Cut-BG} = \sum_i \Delta C_{Cut-BG,i} = \sum_i (\Delta C_{Cut-AG,i} \times R_{ratio,i})$$

$\Delta C_{Cut-BG,i}$  階層  $i$  における主伐に伴う地下部バイオマス中の年間 CO<sub>2</sub> 排出量 (t-CO<sub>2</sub>/年)

$R_{ratio,i}$  階層  $i$  における地上部バイオマス中の年間 CO<sub>2</sub> 排出量に、地下部(根)を加算補正するための係数

$i$  1, 2, 3, ... プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林蓄積に関する層: 地位級)

※欄が足りない場合は適宜欄を追加して記入すること。

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
		方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なる活動量 の説明				モニタリ ング方法 ガイドラ インに あるパ ターン から選 択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)		
モニタリング ポイントの番 号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番 号)を記入	モニタリングポ イントの番号 に対応する小 班名を記入 (同一小班名 は識別可能 な方法で記 述))									特筆すべき事項があれば 記入
1	〇〇小班XX	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく 方法	間伐が実施された小班ごとに、 電子コンパスを用いて・・・(追加 資料はⅦ 備考に添付)	年1回	○	2009/3/3	500m <sup>2</sup>	
1	1001-7-14-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	0.98	特になし
2	1002-7-4-1-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	2.04	特になし
3	1002-7-4-2-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
4	1002-7-4-2-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
5	1006-7-9-3-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	1.07	特になし
6	1006-7-9-3-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
7	1017-7-6-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	1.07	特になし
8	1019-7-72-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	1.51	特になし
9	1020-7-10-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	3.23	特になし

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
		方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリン グ対象とな る活動量の 説明				モニタリン グ方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブ レーションを 行ったか チェックする	キャリブレ ーション実施日		
モニタリング ポイントの番 号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番 号)を記入	モニタリングポ イントの番号 に対応する小 班名を記入 (同一小班名 は識別可能 な方法で記 述))			測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入			想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	特筆すべき事項があれば 記入
10	1022-7-22-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	1.35	特になし
11	1022-7-23-1-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	1.90	特になし
12	1022-7-23-2-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	1.35	特になし
13	1022-7-33-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	2.06	特になし
14	1022-7-33-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	0.52	特になし
15	1040-7-34-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	3.10	特になし
16	1040-7-34-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
17	1040-7-37-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	2.87	特になし
18	1040-7-37-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
19	1040-7-38-1-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
		方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なる活動量 の説明				モニタリ ング方法ガイ ドラインを参 照し、測定機 器のキャリブ レーションを 行ったか チェックする	キャリブレ ーション実施日		
モニタリング ポイントの番 号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番 号)を記入	モニタリングポ イントの番号 に対応する小 班名を記入 (同一小班名 は識別可能 な方法で記 述))			測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入			想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	特筆すべき事項があれば 記入
20	1048-7-13-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	20.93	特になし
21	1048-7-14-3-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
22	1048-7-15-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
23	1048-7-16-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
24	1048-7-17-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
25	1048-7-17-1-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
26	1048-7-17-1-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
27	1048-7-17-1-3	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
28	1048-7-18-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
29	1048-7-18-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
		方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリン グ対象とな る活動量の 説明				モニタリン グ方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブ レーションを 行ったか チェックする	キャリブレ ーション実施日		
モニタリング ポイントの番 号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番 号)を記入	モニタリングポ イントの番号 に対応する小 班名を記入 (同一小班名 は識別可能 な方法で記 述))			測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入			想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	特筆すべき事項があれば 記入
30	1048-7-18-0-3	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
31	1054-7-5-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	6.70	特になし
32	1054-7-5-0-4	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
33	1054-7-6-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		15.56
34	1054-7-8-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
35	1055-7-1-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
36	1055-7-2-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	4.62	特になし
37	1055-7-5-1-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
38	2013-7-15-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	1.28	特になし
39	2013-7-35-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし



Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
		方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリン グ対象とな る活動量の 説明				モニタリン グ方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブ レーションを 行ったか チェックする	キャリブレ ーション実施日		
モニタリング ポイントの番 号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番 号)を記入	モニタリングポ イントの番号 に対応する小 班名を記入 (同一小班名 は識別可能 な方法で記 述))			測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入			想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	特筆すべき事項があれば 記入
40	2013-7-36-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	5.27	特になし
41	2013-7-36-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
42	2013-7-41-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	0.94	特になし
43	2013-7-41-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	0.89	特になし
44	2015-7-3-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	1.34	特になし
45	2015-7-3-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
46	2015-7-4-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	4.09	特になし
47	2015-7-4-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
48	2015-7-4-0-3	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
49	2015-7-9-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
		方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリン グ対象とな る活動量の 説明				モニタリン グ方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブ レーションを 行ったか チェックする	キャリブレ ーション実施日		
モニタリング ポイントの番 号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番 号)を記入	モニタリングポ イントの番号 に対応する小 班名を記入 (同一小班名 は識別可能 な方法で記 述))			測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入			想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	特筆すべき事項があれば 記入
50	2015-7-9-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
51	2015-7-44-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
52	2015-7-45-1-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業の実施時等)	○	施業の実施時	2.03	特になし
53	2015-7-45-1-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
54	2026-7-4-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業の実施時等)	○	施業の実施時	0.21	特になし
55	2026-7-8-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業の実施時等)	○	施業の実施時	0.11	特になし
56	2026-7-9-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業の実施時等)	○	施業の実施時	0.24	特になし
57	2028-7-25-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
58	2028-7-25-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業の実施時等)	○	施業の実施時	0.25	特になし
59	2028-7-25-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業の実施時等)	○	施業の実施時		特になし

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
		方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なる活動量 の説明				モニタリ ング 方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブ レーションを 行ったか チェックする	キャリブレ ーション実施日		
モニタリング ポイントの番 号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番 号)を記入	モニタリングポ イントの番号 に対応する小 班名を記入 (同一小班名 は識別可能 な方法で記 述))			測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入			想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	特筆すべき事項があれば 記入
60	2028-7-44-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	0.09	特になし
61	2028-7-45-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	0.13	特になし
62	2028-7-49-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	0.23	特になし
63	2028-7-51-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	0.19	特になし
64	2028-7-58-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	0.68	特になし
65	2028-7-60-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	0.35	特になし
66	2031-7-49-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	2.73	特になし
67	2054-7-33-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
68	2054-7-34-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
69	2054-7-35-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
70	2054-7-36-1-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	5.76	特になし

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
		方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリン グ対象とな る活動量の 説明				モニタリン グ方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブ レーションを 行ったか チェックする	キャリブレ ーション実施日		
モニタリング ポイントの番 号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番 号)を記入	モニタリングポ イントの番号 に対応する小 班名を記入 (同一小班名 は識別可能 な方法で記 述))			測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入			想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	特筆すべき事項があれば 記入
71	2054-7-36-1-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
72	2054-7-36-1-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
73	2054-7-36-1-3	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
74	2106-7-2-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	0.75	特になし
75	2107-7-1-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	0.59	特になし
76	2107-7-1-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	3.04	特になし
77	2107-7-2-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
78	2107-7-2-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
		方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリン グ対象とな る活動量の 説明				モニタリン グ方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブ レーションを 行ったか チェックする	キャリブレ ーション実施日		
モニタリング ポイントの番 号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番 号)を記入	モニタリングポ イントの番号 に対応する小 班名を記入 (同一小班名 は識別可能 な方法で記 述))			測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入			想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	特筆すべき事項があれば 記入
79	2107-ア-3-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	9.50	特になし
80	2107-ア-3-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
81	2107-ア-3-0-3	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
82	2107-ア-11-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
83	2107-ア-11-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
84	2107-ア-11-0-3	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
85	2107-ア-12-2-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
86	2137-ア-61-2-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	2.90	特になし
87	2158-ア-22-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	4.25	特になし
88	2158-ア-22-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし
89	2179-ア-36-0-0	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
		方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリン グ対象とな る活動量の 説明							
モニタリング ポイントの番 号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番 号)を記入	モニタリングポ イントの番号 に対応する小 班名を記入 (同一小班名 は識別可能 な方法で記 述))			測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インを参照 し、測定機器 のキャリブ レーションを 行ったか チェックする	キャリブレー ション実施日	想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	特筆すべき事項があれば 記入
90	2179-ア-36-0-1	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時	12.10	特になし
91	2179-ア-36-0-2	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく方	コンパス測量に基づく情報を元に、森林 GISシステムにて面積を算出する方法	不定期(施業 の実施時等)	○	施業の実施時		特になし

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 施業を実施した サイトの通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班名 は識別可能な 方法で記述)	各種係数 に対応する樹種名 を記入	方法論に 記載されて いるパラメータを 記入	モニタリング 対象となるパラメータの 説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイド ラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付すること 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入すること (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブ レーションを 行ったか チェックする	キャリブレーション 実施日	想定吸収量 の算定に使用 した値を記入	特筆すべき事項 があれば記入
1	〇〇小班XX	スギ	BEF	拡大係数	実測に基づく方法	小班ごと・植栽樹種ごとに伐倒 試料木を10本選定し・・・(追加 資料はⅦ 備考に添付)	年1回	○	2009/3/3	1.36	
1	スギが優占する 全ての小班	スギ	BEF	拡大係数	「京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書」(2009年)	林齢ごとに拡大係数を特定	吸収量算定時	不要	—	1.57(20年生以下) 1.23(21年生以上)	特になし
2	スギが優占する 全ての小班	スギ	WD	バイオマス換 算係数	「京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書」(2009年)	樹種に応じたバイオマス換算係	吸収量算定時	不要	—	0.314	特になし
3	スギが優占する 全ての小班	スギ	R <sub>ratio</sub>	地下部補正 係数	「京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書」(2009年)	樹種に応じた地下部補正係数を	吸収量算定時	不要	—	0.25	特になし
4	スギが優占する 全ての小班	スギ	CF	炭素比率係 数	「京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書」(2009年)	樹種・林齢に関わらず炭素比率	吸収量算定時	不要	—	0.5	特になし
5	スギが優占する 全ての小班	スギ	Trunk <sub>sc</sub>	幹材積の成 長量	「三重県民有林 スギ、ヒノキ 林分材積材積表及び収穫予 想表」	当該プロジェクト対象地に適切な収穫予想表(資料 4-B)を用いて、さらにモニタリング方法ガイドラインで 示された保守的な方法により特定	吸収量算定時	不要	—	収穫予想表 (資料4-B)参 照	特になし
6	スギが優占する 全ての小班	スギ	i	地位級	モニタリング方法ガイドライン に示された実測に基づく方法	モニタリング方法ガイドラインに示された 実測に基づく方法	モニタリング時	○	モニタリング 実施日	2 及び 3	特になし
7	ヒノキが優占 する全ての小班	ヒノキ	BEF	拡大係数	「京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書」(2009年)	林齢ごとに拡大係数を特定	吸収量算定時	不要	—	1.55(20年生以下) 1.24(21年生以上)	特になし
8	ヒノキが優占 する全ての小班	ヒノキ	WD	バイオマス換 算係数	「京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書」(2009年)	樹種に応じたバイオマス換算係	吸収量算定時	不要	—	0.407	特になし
9	ヒノキが優占 する全ての小班	ヒノキ	R <sub>ratio</sub>	地下部補正 係数	「京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書」(2009年)	樹種に応じた地下部補正係数を	吸収量算定時	不要	—	0.26	特になし
10	ヒノキが優占 する全ての小班	ヒノキ	CF	炭素比率係 数	「京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書」(2009年)	樹種・林齢に関わらず炭素比率	吸収量算定時	不要	—	0.5	特になし
11	ヒノキが優占 する全ての小班	ヒノキ	Trunk <sub>sc</sub>	幹材積の成 長量	「三重県民有林 スギ、ヒノキ 林分材積材積表及び収穫予 想表」	当該プロジェクト対象地に適切な収穫予想表(資料 4-B)を用いて、さらにモニタリング方法ガイドラインで 示された保守的な方法により特定	吸収量算定時	不要	—	収穫予想表 (資料4-B)参 照	特になし

### Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

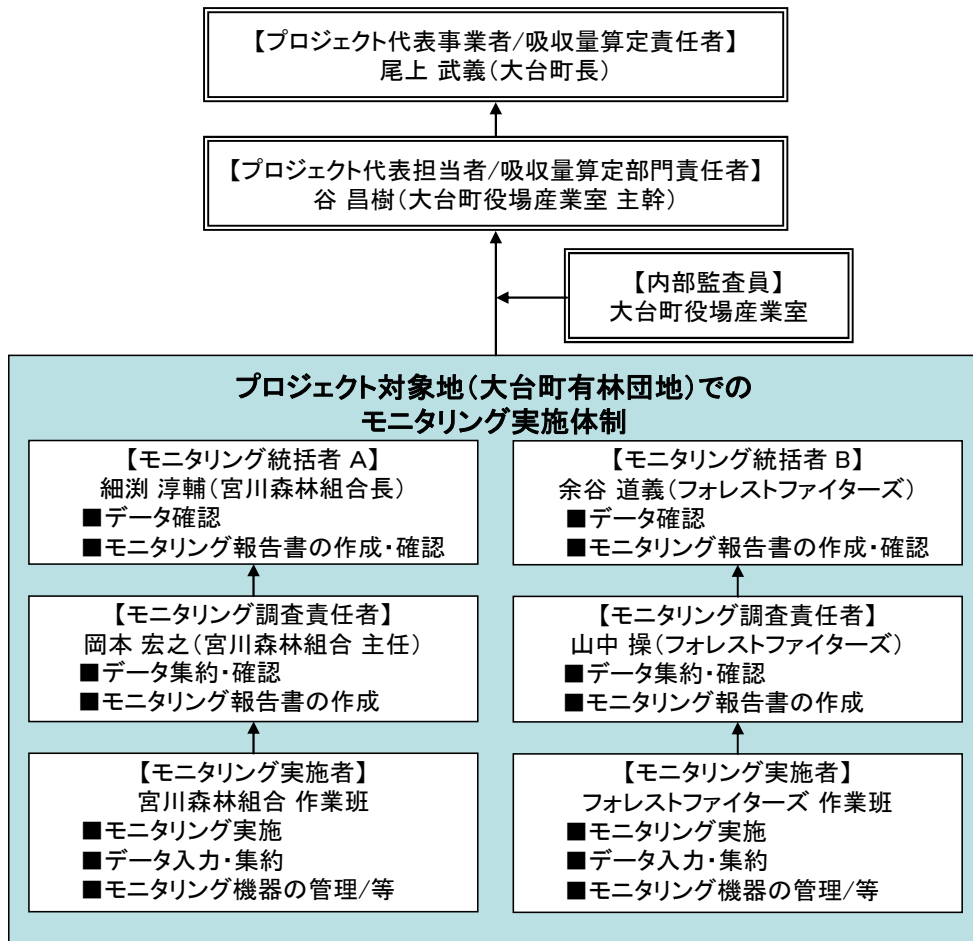
モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 施業を実施した サイトの通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班名 は識別可能な 方法で記述)	各種係数 に対応する 樹種名を 記入	方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なるパラメ ータの説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブ レーションを 行ったか チェックする	キャリブレ ーション実施日	想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	特筆すべき事項 があれば記入
12	ヒノキが優占する 全ての小班	ヒノキ	i	地位級	モニタリング方法ガイドライン に示された実測に基づく方法	モニタリング方法ガイドラインに示された 実測に基づく方法	モニタリング時	○	モニタリング 実施日	2 及び 3	特になし



#### IV. モニタリング体制図

モニタリング体制図を以下に記載すること。

モニタリング体制図を以下に示す。



## V. 品質保証(QA)及び品質管理(QC)

森林管理方法(定期的な林況チェック等)、施業効率の改善(教育・訓練)、機器の点検、及び成長量に関するデータ管理の仕組みや手順(QA及びQC)について以下に記載すること。

### 品質保証(QA)及び品質管理(QC)実施体制

本プロジェクトは大台町有林を対象としており、町有林における森林管理方法、及び森林量に関するデータ管理は、大台町役場産業室で一括管理している。管理にあたっては、実際に町有林で森林施業を行う宮川森林組合及びフォレストファイターズと協力し、定期的開催している会合等を通じて帳簿管理をチェックしていることに加え、定期的な林況チェックも行っている(以下の図参照)。

以下に具体的に実施している活動の概要を示す。

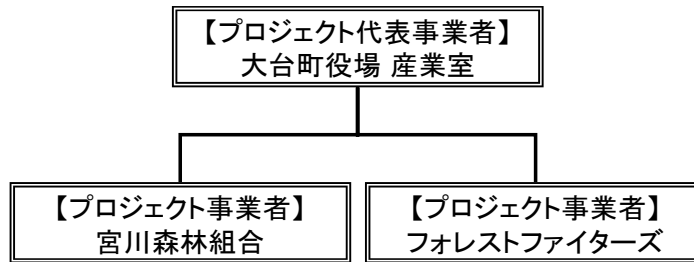


図 プロジェクト実施にかかる品質保証(QA)及び品質管理(QC)体制

#### (1)教育・訓練

野外調査を伴うモニタリングを高い精度で行うためには、モニタリングで使用する林業機器を適切に使用方法(キャリブレーション等)、さらに林内での作業についての専門的な技術を習得しておく必要がある。このため、関係者には定期的に研修等を行い、モニタリング精度の維持・向上に努める。

#### (2)情報の管理

モニタリングで得たデータは、データ処理した後も一定期間にわたり野帳を保管することとし、第三者検証機関が純吸収量の算定結果を再計算できるようにする。また、林内を撮影した写真等も保管することとする。

#### (3)データの確認

モニタリング報告書に記載したデータ及びそのバックデータについては、信頼性を高めるためにデータチェックが必要になる。当プロジェクトでは3組織(図)で相互チェックを行うこととし、収集単位の確認、野帳と算定ファイルの突き合わせ、使用した係数等の妥当性の確認、他の関係データとの比較、経年的なデータ変化や林分間の比較、恣意的なデータ・はずれ値の識別等を行うこととする。

#### (4)内部監査

モニタリングで得たデータ管理、データ収集・処理、及びモニタリング報告までの一連のプロセスにおいて、高い信頼性を確保するため、モニタリング体制に基づき内部監査員のチェックを受け、適切なモニタリングが行われているか、さらに効率よく機能しているかについて定期的に確認する。その際、課題や問題点があった場合は、是正措置を講ずることとする。

※独自の様式や手順書等を作成している場合には本様式に添付しても良い。

VI. 不確実性の計算(各種パラメータ入力)

モニタリング ポイント の番号 (間伐等の 森林施業を 実施したサイト の通し 番号)を記	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値(ha)	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値(m3/年)	不確実性
	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班名 は識別可能な 方法で記述))	植栽され ている樹 種名を記 入	申請対象と なる小班の 面積を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	各都道府県 において使用 される収穫 予想表から 適切なもの を選定し 記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入
1	〇〇小班XX	スギ	27.20	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10	22.2%
1	1001-ア-14-0-0	ヒノキ	0.98	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.44	22.2%
2	1002-ア-4-1-0	スギ	2.04	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.24	22.2%
3	1002-ア-4-2-0													
4	1002-ア-4-2-1													
5	1006-ア-9-3-1	スギ	1.07	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.50	22.2%
6	1006-ア-9-3-2													
7	1017-ア-6-0-0	広葉樹	1.07	10%	1.4	8.6%	0.26	8.9%	0.624	1.3%	0.5	2.0%	2.00	22.2%
8	1019-ア-72-0-0	ヒノキ	1.51	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.44	22.2%
9	1020-ア-10-0-0	ヒノキ	3.23	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.44	22.2%
10	1022-ア-22-0-2	スギ	1.35	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	5.60	22.2%
11	1022-ア-23-1-0	ヒノキ	1.90	10%	1.55	3.2%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	10.98	22.2%
12	1022-ア-23-2-0	ヒノキ	1.35	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.44	22.2%
13	1022-ア-33-0-1	ヒノキ	2.06	10%	1.55	3.2%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	10.98	22.2%
14	1022-ア-33-0-2	ヒノキ	0.52	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.06	22.2%
15	1040-ア-34-0-1	スギ	3.10	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6.82	22.2%
16	1040-ア-34-0-2													
17	1040-ア-37-0-1	スギ	2.87	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6.82	22.2%
18	1040-ア-37-0-2													
19	1040-ア-38-1-0													
20	1048-ア-13-0-0	スギ	20.93	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	5.40	22.2%
21	1048-ア-14-3-1													
22	1048-ア-15-0-0													
23	1048-ア-16-0-1													
24	1048-ア-17-0-0													
25	1048-ア-17-1-1													
26	1048-ア-17-1-2													

VI. 不確実性の計算(各種パラメータ入力)

モニタリング	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値(ha)	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値(m <sup>3</sup> /年)	不確実性
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の 森林施業を 実施したサイト の通し番号)を記	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班名 は識別可能な 方法で記述))	植栽され ている樹 種名を記 入	申請対象と なる小班の 面積を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	各都道府県 において使用 される収穫予 想表から適切 なものを選定 し記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入
27	1048-7-17-1-3													
28	1048-7-18-0-1													
29	1048-7-18-0-2													
30	1048-7-18-0-3													
31	1054-7-5-0-1	ヒノキ	6.70	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	9.48	22.2%
32	1054-7-5-0-4													
33	1054-7-6-0-1	スギ	15.56	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	7.28	22.2%
34	1054-7-8-0-2													
35	1055-7-1-0-1	スギ	4.62	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	7.28	22.2%
36	1055-7-2-0-1													
37	1055-7-5-1-0													
38	2013-7-15-0-0	ヒノキ	1.28	10%	1.55	3.2%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.62	22.2%
39	2013-7-35-0-0	スギ	5.27	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6.98	22.2%
40	2013-7-36-0-0													
41	2013-7-36-0-1													
42	2013-7-41-0-1	ヒノキ	0.94	10%	1.55	3.2%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	10.98	22.2%
43	2013-7-41-0-2	スギ	0.89	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.96	22.2%
44	2015-7-3-0-1	ヒノキ	1.34	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.54	22.2%
45	2015-7-3-0-2													
46	2015-7-4-0-1	スギ	4.09	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	7.34	22.2%
47	2015-7-4-0-2													
48	2015-7-4-0-3													
49	2015-7-9-0-1													
50	2015-7-9-0-2													
51	2015-7-44-0-0	スギ	2.03	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.28	22.2%
52	2015-7-45-1-0													
53	2015-7-45-1-1													
54	2026-7-4-0-0	スギ	0.21	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6.82	22.2%
55	2026-7-8-0-0	ヒノキ	0.11	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.24	22.2%

VI. 不確実性の計算(各種パラメータ入力)

モニタリング 番号	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値(ha)	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値(m <sup>3</sup> /年)	不確実性
	モニタリング ポイントの番号 (間伐等の 森林施業を 実施したサイト の通し 番号)を記	植栽され ている樹 種名を記 入	申請対象と なる小班の 面積を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	各都道府県 において使用 される収穫 予想表から 適切なもの を選定し 記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入
56	2026-ア-9-0-0	スギ	0.24	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	7.34	22.2%
57	2028-ア-25-0-0	スギ	0.25	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6.24	22.2%
58	2028-ア-25-0-1													
59	2028-ア-25-0-2													
60	2028-ア-44-0-0	広葉樹	0.09	10%	1.4	8.6%	0.26	8.9%	0.624	1.3%	0.5	2.0%	2.00	22.2%
61	2028-ア-45-0-0	ヒノキ	0.13	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5.54	22.2%
62	2028-ア-49-0-0	スギ	0.23	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6.24	22.2%
63	2028-ア-51-0-0	ヒノキ	0.19	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.06	22.2%
64	2028-ア-58-0-0	スギ	0.68	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6.24	22.2%
65	2028-ア-60-0-0	ヒノキ	0.35	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.62	22.2%
66	2031-ア-49-0-2	ヒノキ	2.73	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.14	22.2%
67	2054-ア-33-0-0	ヒノキ	5.76	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.94	22.2%
68	2054-ア-34-0-0													
69	2054-ア-35-0-0													
70	2054-ア-36-1-0													
71	2054-ア-36-1-1													
72	2054-ア-36-1-2													
73	2054-ア-36-1-3													
74	2106-ア-2-0-1	スギ	0.75	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.00	22.2%
75	2107-ア-1-0-1	スギ	0.59	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.00	22.2%
76	2107-ア-1-0-2	ヒノキ	3.04	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.14	22.2%
77	2107-ア-2-0-1	スギ	9.50	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.80	22.2%
78	2107-ア-2-0-2													
79	2107-ア-3-0-1													
80	2107-ア-3-0-2													
81	2107-ア-3-0-3													
82	2107-ア-11-0-1													
83	2107-ア-11-0-2													
84	2107-ア-11-0-3													

VI. 不確実性の計算(各種パラメータ入力)

モニタリング グ	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値(ha)	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値(m3/年)	不確実性
モニタリング ポイントの 番号 (間伐等の 森林施業を 実施したサ イトの通し 番号)を記	モニタリング ポイントの番 号に対応する 小班名を記入 (同一小班名 は識別可能な 方法で記述))	植栽され ている樹 種名を記 入	申請対象と なる小班の 面積を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	方法論に記 載されてい る対象樹種 の拡大係数 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入	各都道府県 において使 用される収 穫予想表か ら適切なも のを選定し 記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載 されている 面積の不確 実性を記入
85	2107-7-12-2-0													
86	2137-7-61-2-0	ヒノキ	2.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.70	22.2%
87	2158-7-22-0-1	ヒノキ	4.25	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.56	22.2%
88	2158-7-22-0-2													
89	2179-7-36-0-0	スギ	12.10	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	7.62	22.2%
90	2179-7-36-0-1													
91	2179-7-36-0-2													

VI. 不確実性の計算

全体の不確実性= **5.8%**

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	CO2吸収量/年			不確実性		
			地上部バイオマス 値(t-CO2/年)	地下部バイオマス 値(t-CO2/年)	合計 値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号 に対応する小班名を記入 (同一小班名は識別可能な方法で記述))	植栽されている樹種名を記入	VI-1不確実性(入力シート)のパラメータから計算 $=a * b * d * e * f * 44/12$	VI-2不確実性(算定結果)の地上部バイオマスにVI-1不確実性(入力シート)のc(R率)を乗じて計算 $=地上部バイオマス * c$	地上部バイオマスと地下部バイオマスの合計	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	次式により計算 $=SQRT(活動量^2 + 係数^2)$
1	〇〇小班XX	スギ	245.8	61.5	307.3	10.0%	23.1%	25.2%
1	1001-7-14-0-0	ヒノキ	7.7	2.0	9.6	10.0%	23.1%	25.2%
2	1002-7-4-1-0	スギ	13.3	3.3	16.7	10.0%	22.9%	25.0%
3	1002-7-4-2-0							
4	1002-7-4-2-1							
5	1006-7-9-3-1	スギ	6.4	1.6	8.0	10.0%	22.9%	25.0%
6	1006-7-9-3-2							
7	1017-7-6-0-0	広葉樹	3.4	0.9	4.3	10.0%	25.5%	27.4%
8	1019-7-72-0-0	ヒノキ	11.8	3.1	14.9	10.0%	23.1%	25.2%
9	1020-7-104-0-0	ヒノキ	25.2	6.6	31.8	10.0%	23.1%	25.2%
10	1022-7-22-0-2	スギ	5.4	1.3	6.7	10.0%	22.9%	25.0%
11	1022-7-23-1-0	ヒノキ	24.1	6.3	30.4	10.0%	23.3%	25.3%
12	1022-7-23-2-0	ヒノキ	10.5	2.7	13.3	10.0%	23.1%	25.2%
13	1022-7-33-0-1	ヒノキ	26.2	6.8	33.0	10.0%	23.3%	25.3%
14	1022-7-33-0-2	ヒノキ	2.9	0.8	3.7	10.0%	23.1%	25.2%
15	1040-7-34-0-1	スギ	15.0	3.7	18.7	10.0%	22.9%	25.0%
16	1040-7-34-0-2							
17	1040-7-37-0-1	スギ	13.9	3.5	17.3	10.0%	22.9%	25.0%
18	1040-7-37-0-2							
19	1040-7-38-1-0							
20	1048-7-13-0-0	スギ	80.0	20.0	100.0	10.0%	22.9%	25.0%
21	1048-7-14-3-1							
22	1048-7-15-0-0							
23	1048-7-16-0-1							
24	1048-7-17-0-0							
25	1048-7-17-1-1							
26	1048-7-17-1-2							

VI. 不確実性の計算

全体の不確実性= **5.8%**

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	CO2吸収量/年			不確実性		
			地上部バイオマス 値(t-CO2/年)	地下部バイオマス 値(t-CO2/年)	合計 値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号 に対応する小班名を記入 (同一小班名は識別可能な方法で記述))	植栽されている樹種名を記入	VI-1不確実性(入力シート)のパラメータから計算 $=a * b * d * e * f * 44/12$	VI-2不確実性(算定結果)の地上部バイオマスにVI-1不確実性(入力シート)のc(R率)を乗じて計算 $=地上部バイオマス * c$	地上部バイオマスと地下部バイオマスの合計	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	次式により計算 $=SQRT(活動量^2 + 係数^2)$
27	1048-7-17-1-3							
28	1048-7-18-0-1							
29	1048-7-18-0-2							
30	1048-7-18-0-3							
31	1054-7-5-0-1	ヒノキ	58.8	15.3	74.0	10.0%	23.1%	25.2%
32	1054-7-5-0-4							
33	1054-7-6-0-1	スギ	80.2	20.1	100.3	10.0%	22.9%	25.0%
34	1054-7-8-0-2							
35	1055-7-1-0-1	スギ	23.8	6.0	29.8	10.0%	22.9%	25.0%
36	1055-7-2-0-1							
37	1055-7-5-1-0							
38	2013-7-15-0-0	ヒノキ	9.8	2.5	12.3	10.0%	23.3%	25.3%
39	2013-7-35-0-0	スギ	26.0	6.5	32.6	10.0%	22.9%	25.0%
40	2013-7-36-0-0							
41	2013-7-36-0-1							
42	2013-7-41-0-1	ヒノキ	11.9	3.1	15.0	10.0%	23.3%	25.3%
43	2013-7-41-0-2	スギ	8.8	2.2	11.0	10.0%	23.1%	25.2%
44	2015-7-3-0-1	ヒノキ	8.1	2.1	10.2	10.0%	23.1%	25.2%
45	2015-7-3-0-2							
46	2015-7-4-0-1	スギ	21.3	5.3	26.6	10.0%	22.9%	25.0%
47	2015-7-4-0-2							
48	2015-7-4-0-3							
49	2015-7-9-0-1							
50	2015-7-9-0-2							



VI. 不確実性の計算

全体の不確実性= **5.8%**

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	CO2吸収量/年			不確実性		
			地上部バイオマス 値(t-CO2/年)	地下部バイオマス 値(t-CO2/年)	合計 値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号 に対応する小班名を記入 (同一小班名は識別可能な方法で記述))	植栽されている樹種名を記入	VI-1不確実性(入力シート)のパラメータから計算 $=a * b * d * e * f * 44/12$	VI-2不確実性(算定結果)の地上部バイオマスにVI-1不確実性(入力シート)のc(R率)を乗じて計算 $=地上部バイオマス * c$	地上部バイオマスと地下部バイオマスの合計	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	次式により計算 $=SQRT(活動量^2 + 係数^2)$
51	2015-7-44-0-0	スギ	11.9	3.0	14.9	10.0%	22.9%	25.0%
52	2015-7-45-1-0							
53	2015-7-45-1-1							
54	2026-7-4-0-0	スギ	1.0	0.3	1.3	10.0%	22.9%	25.0%
55	2026-7-8-0-0	ヒノキ	0.7	0.2	0.9	10.0%	23.1%	25.2%
56	2026-7-9-0-0	スギ	1.2	0.3	1.6	10.0%	22.9%	25.0%
57	2028-7-25-0-0	スギ	1.1	0.3	1.4	10.0%	22.9%	25.0%
58	2028-7-25-0-1							
59	2028-7-25-0-2							
60	2028-7-44-0-0	広葉樹	0.3	0.1	0.4	10.0%	25.5%	27.4%
61	2028-7-45-0-0	ヒノキ	0.7	0.2	0.9	10.0%	23.1%	25.2%
62	2028-7-49-0-0	スギ	1.0	0.3	1.3	10.0%	22.9%	25.0%
63	2028-7-51-0-0	ヒノキ	1.1	0.3	1.3	10.0%	23.1%	25.2%
64	2028-7-58-0-0	スギ	3.0	0.8	3.8	10.0%	22.9%	25.0%
65	2028-7-60-0-0	ヒノキ	2.1	0.6	2.7	10.0%	23.1%	25.2%
66	2031-7-49-0-2	ヒノキ	15.5	4.0	19.5	10.0%	23.1%	25.2%
67	2054-7-33-0-0	ヒノキ	42.3	11.0	53.3	10.0%	23.1%	25.2%
68	2054-7-34-0-0							
69	2054-7-35-0-0							
70	2054-7-36-1-0							
71	2054-7-36-1-1							

VI. 不確実性の計算

全体の不確実性= **5.8%**

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	CO2吸収量/年			不確実性		
			地上部バイオマス 値(t-CO2/年)	地下部バイオマス 値(t-CO2/年)	合計 値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号 に対応する小班名を記入 (同一小班名は識別可能な方法で記述))	植栽されている樹種名を記入	VI-1不確実性(入力シート)のパラメータから計算 $=a * b * d * e * f * 44/12$	VI-2不確実性(算定結果)の地上部バイオマスにVI-1不確実性(入力シート)のc(R率)を乗じて計算 $=地上部バイオマス * c$	地上部バイオマスと地下部バイオマスの合計	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	次式により計算 $=SQRT(活動量^2 + 係数^2)$
72	2054-7-36-1-2							
73	2054-7-36-1-3							
74	2106-7-2-0-1	スギ	4.2	1.1	5.3	10.0%	22.9%	25.0%
75	2107-7-1-0-1	スギ	3.3	0.8	4.2	10.0%	22.9%	25.0%
76	2107-7-1-0-2	ヒノキ	17.3	4.5	21.8	10.0%	23.1%	25.2%
77	2107-7-2-0-1	スギ	59.2	14.8	74.0	10.0%	22.9%	25.0%
78	2107-7-2-0-2							
79	2107-7-3-0-1							
80	2107-7-3-0-2							
81	2107-7-3-0-3							
82	2107-7-11-0-1							
83	2107-7-11-0-2							
84	2107-7-11-0-3							
85	2107-7-12-2-0							
86	2137-7-61-2-0	ヒノキ	23.3	6.1	29.4	10.0%	23.1%	25.2%
87	2158-7-22-0-1	ヒノキ	33.7	8.8	42.4	10.0%	23.1%	25.2%
88	2158-7-22-0-2							
89	2179-7-36-0-0	スギ	65.3	16.3	81.6	10.0%	22.9%	25.0%
90	2179-7-36-0-1							
91	2179-7-36-0-2							

参考：不確実性記入例

モニタリングポイント、小班名、樹種、面積、拡大係数、R率、容積密度、炭素係数、収穫予想表の値を下記のとおり記入し、モニタリング方法ガイドラインより、それぞれの不確実性値をVI-1不確実性(入力)シートに入力する。これにより、不確実性値は、VI-2不確実性(算定)シートにおいて、自動的に計算される。

モニタリング	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値 (ha)	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値 (m <sup>3</sup> /年)	不確実性
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入(同一小班名は識別可能な方法で記述)	植栽されている樹種名を記入	申請対象となる小班の面積を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	方法論に記載されている対象樹種の拡大係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	方法論に記載されている対象樹種の拡大係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	方法論に記載されている対象樹種の拡大係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	方法論に記載されている対象樹種の拡大係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	各都道府県において使用される収穫予想表から適切なものを選択し記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入
1	〇〇小班X	その他	27.20	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
2	〇〇小班X	その他	21.72	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
3	〇〇小班X	その他	1.68	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
4	〇〇小班X	その他	4.80	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
5	〇〇小班X	その他	1.00	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
6	〇〇小班X	その他	0.36	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
7	〇〇小班X	その他	2.56	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
8	〇〇小班X	その他	2.20	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
9	〇〇小班X	その他	24.68	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
10	〇〇小班X	その他	12.72	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
11	〇〇小班X	その他	54.56	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
12	〇〇小班X	その他	5.16	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
13	〇〇小班X	その他	5.04	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
14	〇〇小班X	その他	3.48	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
15	〇〇小班X	その他	20.00	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
16	〇〇小班X	その他	4.04	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
17	〇〇小班X	その他	1.92	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
18	〇〇小班X	その他	29.82	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
19	〇〇小班X	その他	0.08	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
20	〇〇小班X	その他	2.76	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
21	〇〇小班X	その他	0.08	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
22	〇〇小班X	その他	4.76	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
23	〇〇小班X	その他	2.24	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
24	〇〇小班X	その他	1.32	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
25	〇〇小班X	その他	2.68	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
26	〇〇小班X	その他	3.96	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
27	〇〇小班X	その他	0.20	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
28	〇〇小班X	その他	2.04	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%

## Ⅶ. 備考

モニタリング項目等の説明で、追加説明が必要な場合は、以下に詳細を記述する。  
説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。  
なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

添付資料は以下に示す通りである。その他、資料4-A及び資料4-Bを引用している。

添付資料1: プロジェクト対象地における森林施業履歴